

生産届出書（別記様式第1号）

「当該農産物を栽培する本圃への播種または定植を行う前」までに、届出書を市町に提出する

「安心！広島ブランド」特別栽培農産物生産届出書

令和〇〇年4月24日

広島県西部農林水産事務所長 様

住 所 〇〇市〇〇〇〇〇

氏 名 〇〇 〇〇

（団体の所在地

団体の名称

代表者氏名

法人・団体用

「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証要領の5の規定により届け出ます。

地域慣行レベルの品目名を記載する

届け出対象期間は、前作収穫終了後から、当該作収穫調製までの期間とする
無耕作期間がある場合は、本作の作業（草刈や耕起）を開始した時期からとする

野菜等で2回転させる場合は、延べ面積も併記する
例) 2.52a (1.26a × 2回)
小数点第2位まで記載すること

品目名(品種名)	いね(コシヒカリ)	作型等	—	栽培面積	100.20 a	
届出対象期間	令和〇〇年9月 ~ 令和〇〇年10月					
地域慣行レベル策定地方公共団体	<input checked="" type="checkbox"/> 広島県 <input type="checkbox"/> 市町(市町名:)					
生産者	住所	広島市〇〇〇	氏名	〇〇〇〇	電話番号	〇〇〇-〇〇〇〇
栽培責任者	住所	広島市●●●	氏名	●●●●	電話番号	●●●-●●●●
確認責任者	住所	広島市■●■	氏名	■●■●	電話番号	■●■-■●■●
	節減対象農薬使用回数		化学肥料使用量			
地域慣行レベル	21回		8 kg/10 a			
栽培計画	9回		1.8 kg/10 a			

生産者が複数の場合は、別紙にまとめる

使用予定の節減対象農薬の成分回数を記載する

使用予定の化学肥料の窒素成分量を記載する

別紙

【生産者が1人の場合】

ほ場番号	ほ場所在地	栽培面積 (a)
1	広島市〇〇〇〇 1 2 3 4	50.00
2	広島市〇〇〇〇 4 3 2 1	50.00
合計		100.00

生産ほ場の所在地が判るものを添付する

【生産者が複数の場合】

生産者	ほ場番号	ほ場所在地	栽培面積 (a)
●▲ ○■	1	広島市〇〇〇〇 1 2 3 4	50.00
	2	広島市〇〇〇〇 4 3 2 1	50.00
	小計		100.00
△○ ■○	1	広島市〇〇〇〇 5 6 7	40.00
	2	広島市〇〇〇〇 7 6 5	50.00
	小計		90.00
●□ ○△	1	広島市〇〇〇〇 1 2 6 5	50.00
	2	広島市〇〇〇〇 6 5 2 1	60.00
	3	広島市〇〇〇〇 5 6 1 2	70.00
	小計		180.00
△□ ◆○	1	広島市〇〇〇〇 5 8 9	60.00
	2	広島市〇〇〇〇 9 8 5	20.00
	小計		80.00
合計			450.00

生産ほ場の所在地が判るものを添付する

(参考) 生産部会等のグループの取組み

同一の栽培暦（栽培方法）で生産している産地や生産部会等のグループにおいて、栽培計画書の作業計画や使用予定資材が記載された栽培暦がある場合は、栽培暦を添付することで、栽培計画書の記載を簡素化できます。

(参考) 複数回転の作付け、ほ場ごとに作付時期をずらす場合

複数回の作付けを行う場合や、作付時期をずらす場合、確認責任者等が円滑に現地確認できるように、ほ場ごとの作付計画を追加してください。

<例 非結球レタス4.5アール栽培>

2993 (1.5a) は3回転、2992 (1.5a) と 2991-2 (1.5a) は2回転

⇒延べ合計 10.5アールの作付け

【必要な書類】

- ①生産届+栽培計画+ほ場位置図 + ②ほ場ごとの作付計画が分かる資料

ほ場番号	2993	2992	2991-2
面積	1.5a	1.5a	1.5a
品目	非結球レタス	非結球レタス	非結球レタス
H25 1月	上旬		
	中旬		
	下旬	前作収穫終了	
2月	上旬		
	中旬		
	下旬	耕起・堆肥等散布	
3月	上旬		
	中旬	播種	
	下旬		
4月	上旬		
	中旬	定植	
	下旬		
収穫1回目 5月	上旬		
	中旬	収穫開始	
	下旬	↓	
6月	上旬	収穫終了	
	中旬		
	下旬		前作収穫終了
7月	上旬	耕起・堆肥等散布	
	中旬	播種	
	下旬	定植	耕起・堆肥等散布
収穫2回目 8月	上旬		播種
	中旬		定植
	下旬	収穫開始	
9月	上旬	↓	収穫開始
	中旬	収穫終了	↓
	下旬		↓
10月	上旬		前作収穫終了
	中旬		収穫終了
	下旬		耕起・堆肥等散布
11月	上旬		
	中旬		播種
	下旬		定植
12月	上旬		
	中旬		収穫開始
	下旬	耕起・堆肥等散布	↓
1月	上旬	播種	↓
	中旬		↓
	下旬	定植	収穫終了
2月	上旬		
	中旬		
	下旬		耕起・堆肥等散布
収穫3回目 3月	上旬	収穫開始	播種
	中旬	↓	耕起・堆肥等散布
	下旬	収穫終了	定植
4月	上旬		定植
	中旬		
	下旬		
5月	上旬		収穫開始
	中旬		↓
	下旬		収穫終了
6月	上旬		収穫開始
	中旬		↓
	下旬		収穫終了



認証申請書（別記様式第3号）

当該農産物の収穫開始14日前までに申請する

「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証申請書

令和〇〇年8月15日

広島県知事様

住所 〇〇市〇〇〇〇〇

氏名 〇〇 〇〇 または

法人・団体用

団体の所在地

団体の名称

代表者氏名

「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証要領7の規定により、認証を申請します。

県から受理通知された日付、受理番号を記載する

生産届受理年月日	令和〇〇年4月5日	受理番号	特裁(〇〇)〇〇-001		
品目名(品種名)	いね(コシヒカリ)	作型等	—	栽培面積	100.20 a

特別栽培管理記録書（別記様式第2号）

管理状況確認日は、定植から収穫2週間までの期間内の日付とし、受領確認日より以前の日付とする（同日も可）

特別栽培計画兼栽培管理記録書

生産者名		栽培責任者名		確認責任者名		ほ場確認	令和〇〇年 3月20日
住所	〇〇市〇〇〇	住所	〇〇市●●●	住所	〇〇市■●■	管理状況確認	令和〇〇年 8月 7日
		氏名	●●●●●			収穫状況確認	令和〇〇年 9月 中旬
		TEL	●●-●●-●●			受領確認欄	令和 年 月 日 確認責任者氏名 ■●●■

生産届出時の栽培管理計画で修正箇所があった場合は、適切に修正していること

化学合成窒素成分量とは、肥料中の無機態窒素成分量(%)を記載。
(※有機態は含めない)

ほ場番号 (ほ場所在地)	作業計画 (実績)				使用資材					
	作業等名	作業時期	施肥・土づくり等		使用時期	名称 (有効成分名称)	有効成分	回数		
別紙	前作収穫終了 堆肥散布 土壌改良剤散布 耕起 種子消毒 播種	〇〇.9.15 〇〇.11.5 〇〇.12.8 〇〇.3.25 〇〇.4.5 〇〇.4.11	名称 (化学合成窒素成分量%)	施用量 (kg/10a)	化学合成窒素量 (kg/10a)	〇〇.11.5 〇〇.12.8	ナリド C707Aブル (イソナブル・銅水和剤)	1	200倍	〇〇.4.5
品目名 (品種名)	代かき 除草剤散布	〇〇.4.15 〇〇.4.15					エリジャン乳剤 (グレナカロール)	1	300ml/10a	〇〇.4.15
いね (コシヒカリ)	田植、施肥	〇〇.5.1	こだわり米有機基肥 (無機態窒素 4%)				オビネートアリス (イゾロル・アロベナブル)	2	50g/箱	〇〇.5.1
			こだわり米有機堆肥 (無機態窒素 3%)				イテック707Aブル (イマノスルホン・カブエストロール・ピシクロ)	3	500ml/10a	〇〇.5.15
							トルボンSE (エトフェナゾール・アジメクトリン)	2	300倍、250/10a	〇〇.8下
100.20	収穫	〇〇.9中								
合計 (のべ使用回数)	計画 実績 最終見込									
地域慣行レベル										

作業が数日かかった場合は、「〇〇.4.10～〇〇.4.13」のように作業期間を記載する

農薬名を記載し、カッコ書きで有効成分名を記載

パンフレットやメーカー聞き取りなどにより、化学合成(無機態)窒素量を記載

実績は確認責任者の受領確認日までに使用した回数の合計を記載する

・小数点第2位を切り上げる
・切り上げた結果、慣行レベルの5割を上回る場合は、小数点第2位まで記載する

慣行レベルの5割減以上であること

・使用量、希釈倍率及び使用時期が、農薬容器等の記載内容に反していないこと
・重複する農薬や成分が、当該農薬や成分の使用上限回数を超えないこと（誤使用を防止）

認証申請書及び栽培管理記録書の内容を確認し、日付を記入、記名する。
(認証申請日と同日かそれ以前)

「ガイドラインによる表示」

農林水産省新ガイドラインによる表示

特 別 栽 培 米

節減対象農薬：当地比 5 割減
 化学肥料（窒素成分）：当地比 7 割減

栽培責任者 ●●●●
 所在地 広島県広島市 ●●●●
 連絡先 ●●●●-●●●●-●●●●●●

確認責任者 ■■■■
 所在地 広島県広島市 ■■■■
 連絡先 ■■■■-■■■■-■■■■■■

精米確認者 ▲▲▲▲
 所在地 広島県広島市 ▲▲▲▲
 連絡先 ▲▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲▲▲

栽培責任者等の氏名、所在地、連絡先に間違いがないか確認する

節減対象農薬の使用状況		
使用資材名	用途	使用回数
イプロナゾール	殺菌	1回
プレチラクロール	除草	1回
フィプロニル	殺虫	1回
プロベナゾール	殺菌	1回
イマゾスルフロン	除草	1回
カフェンストロール	除草	1回
ベンゾビシクロン	除草	1回
エトフェンプロックス	殺虫	1回
アゾキシストロビン	殺菌	1回

用途は、登録農薬情報等を参考に記載する

販売PR票

「安心！広島ブランド」認証制度（特別栽培農産物）PRに係る調査票

品目	申請者（認証予定者） （連絡先）	販売店 （所在地・電話番号）	販売開始時期～ 販売終了(予定)時期	ホームページへの販 売店の掲載	備考
いね (コシヒカリ)	●● ●● 〇〇市〇〇〇〇 Tel (082) 〇〇〇-〇〇〇〇	①自宅販売 〇〇市〇〇〇〇 Tel (082) 〇〇〇-〇〇〇〇 URL http://www.●●.jp ②道の駅「●●」 〇〇市〇〇〇〇 Tel (082) 〇〇〇-〇〇〇〇 ③スーパー▲▲ □□店 〇〇市〇〇〇〇 Tel (082) 〇〇〇-〇〇〇〇	令和〇年10月上旬 ～ 令和〇年12月下旬	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	

生産者自身が、ホームページでPRしている場合やネット販売を行っている場合は、アドレスも併せて県ホームページでPRします

販売期間の開始時期と終了予定時期が判るよう、記載する

いずれかに「レ」のチェックを入れてください

【調査及び調査票の提出について】

調査票はホームページへの掲載希望の有無にかかわらず、原則として提出してください。

【記入についての留意事項】

- ①申請者（認証予定者）欄については、氏名（法人・団体名及び代表者名）、住所及び電話番号を記入してください。
- ②販売店欄については、販売店名、所在地及び電話番号を記入してください。ただし、販売店数が多く、全店舗の記入が困難な場合は主な店舗を記入してください。（その旨、備考欄に記入してください。）
- ③変更があれば、随時ご連絡ください。

【その他】

提出された情報のうち、ホームページへの販売店の掲載を希望しない場合は、認証日、申請者（認証予定者）住所及び農地の属する市町、氏名（法人・団体名）及び品目

(参考) 使用資材が異なる生産者が、グループで認証申請する場合 (※米を除く)

生産者が同一の栽培責任者のもと、グループで認証申請する場合において、使用資材が異なる農産物を混合して、同一の包装形態で販売するケースが考えられます。

消費者は、農産物に使用された資材の内容について正確な情報を求めていることから、節減対象農薬の使用状況の欄には、当該包装内の複数の農産物に使用された全ての資材について網羅的に表示する必要があります。

また、同一の資材が各農産物に異なる回数 (農薬の場合) 使用されている場合には、消費者の優良誤認を避けるため、当該資材の使用回数の欄には、使用回数が最大であるものの回数を記載することが原則になります。

< 記載例 1 >

地域慣行レベルが 10 回の場合				農産物への表示		
生産者ごとの実際の使用回数				各資材の最大使用回数を表		
使用 資材名	使用回数			節減対象農薬の使用状況		
	生産方法 a	生産方法 b	生産方法 c	使用資材名	用途	使用回数
A	1	2	1	A	殺菌	2
B	1			B	殺虫	1
C	1	1	1	C	殺虫	1
D		1	1	D	除草	1
計	3	4	3			

- ・ 生産者ごとの使用回数は、最大で「4」であるが、農産物への表示は、「5」になる
- ・ この使用回数「5」が地域慣行レベルの5割以下であれば、認証農産物として販売できる

< 記載例 2 >

地域慣行レベルが 10 回の場合				農産物への表示		
生産者ごとの実際の使用回数				各資材の最大使用回数を表		
使用 資材名	使用回数			節減対象農薬の使用状況		
	生産方法 a	生産方法 b	生産方法 c	使用資材名	用途	使用回数
A	3	2	1	A	殺菌	3
B	1			B	殺虫	1
C	1	2	1	C	殺虫	2
D		1	1	D	除草	1
計	5	5	3			

- ・ 生産者ごとの使用回数は、最大で「5」で、全員が特別栽培農産物の生産方法であるが、農産物への表示では「7」となり、地域慣行レベルの5割を超えるため、認証農産物として販売できないことになる
- ・ このため、次のページの記載方法に改める必要がある

地域慣行レベル10回の場合

生産者ごとの実際の使用回数

使用 資材名	使用回数		
	生産方法 a	生産方法 b	生産方法 c
A	3	2	1
B	1		
C	1	2	1
D		1	1
計	5	5	3

個々の生産方法の使用回数

農産物への表示

節減対象農薬の使用状況				
使用資材名	用途	使用回数		
A	殺菌	3	2	1
B	殺虫	1		
C	殺虫	1	2	1
D	除草		1	1

※使用された農薬の異なる上記3種類の〇〇（農産物名）が混合しています。

すべての生産方法の使用回数を表示し、複数の種類（生産方法）の認証農産物が混合している旨を明記する

<記載例3>

記載例2に準じて記載すべきところであるが、生産者が多数いて、包装資材等にすべてを表記することができない場合、次のような表示方法があります。

農林水産省新ガイドラインによる表示
特 別 栽 培 米

節減対象農薬：当地比5割減
化学肥料（窒素成分）：当地比5割減

栽培責任者 ●●●●●
所在地 広島県広島市 ●●●●●
連絡先 ●●●●-●●●●-●●●●●●

確認責任者 ■■■■■
所在地 広島県広島市 ■■■■■
連絡先 ■■■■-■■■■-■■■■■■

精米確認者 ▲▲▲▲▲
所在地 広島県広島市 ▲▲▲▲▲
連絡先 ▲▲▲▲-▲▲▲▲-▲▲▲▲▲

節減対象農薬の使用状況
http://www.●●.co.jp/

農薬の使用状況を、容器、包装又は票片の一括表示の枠外に表示できない場合、消費者が必要に応じて確認できるホームページのアドレス等情報入手の方法を、一括表示の枠内に掲載する

ホームページ

節減対象農薬の使用状況				
使用資材名	用途	使用回数		
A	殺菌	3	2	1
B	殺虫	1		
C	殺虫	1	2	1
D	除草		1	1

「節減対象農薬の使用状況」をホームページに掲載する

※使用された農薬の異なる上記3種類の〇〇（農産物名）が混合しています。

実績報告書（別記様式第4号）

・当該作の出荷終了後30日を経過する日までに提出

「安心！広島ブランド」特別栽培農産物実績報告書

令和〇〇年11月10日

広島県知事様

法人・団体用

住所 〇〇市〇〇〇〇〇

氏名 〇〇 〇〇

団体の所在地

団体の名称

代表者氏名

「安心！広島ブランド」特別栽培農産物認証要領13の規定により、実績を報告します。

県から認証通知された日付、
認証番号を記載する

認証年月日	令和〇〇年9月15日	認証番号	特裁〇〇-001		
品目名(品種名)	いね(コシヒカリ)	作型等	—	栽培面積	100.20 a

特別栽培管理記録書（別記様式第2号）

特別栽培計画兼栽培管理記録書

生産者名		栽培責任者名		確認責任者名		ほ場確認	令和〇〇年 3月20日
住所	〇〇市〇〇〇	住所	〇〇市●●●	住所	〇〇市■●■	管理状況確認	令和〇〇年 8月 7日
氏名	〇〇〇〇	氏名	●●●●●	氏名	■●●■	収穫状況確認	令和〇〇年 9月 中旬
TEL	〇〇-〇〇-〇〇〇〇	TEL	●●-●●-●●●●	TEL	■●-■●-■●■	受領確認欄	令和 年 月 日 確認責任者氏名 ■●■

ほ場番号 (ほ場所在地)	作業計画 (実績)		使用資材						
	作業等名	作業時期	施肥・土づくり等			病害虫防除			
			名称 (化学合成窒素成分量%)	施用量 (kg/10a)	化学合成窒素 (kg/10a)	名称	回数	濃度	時期
別紙	前作収穫終了	〇〇.9.15							
	堆肥散布	〇〇.11.5	牛糞堆肥	1000	0				〇〇.11.5
	土壌改良剤散布	〇〇.12.8	ミネラルG	200	0				〇〇.12.8
	耕起	〇〇.3.25							
	種子消毒	〇〇.4.5				チリド C70アブル (イブコナブル・銅水和剤)	1	200倍	〇〇.4.5
品目名 (品種名)	播種	〇〇.4.11							
	代かき	〇〇.4.15							
いね (コシヒカリ)	除草剤散布	〇〇.4.15				エリゾン乳剤 (ブレチアコール)	1	300ml/10a	〇〇.4.15
	田植、施肥	〇〇.5.1	こだわり米有機基肥 (無機態窒素4%)	30	1.2	オビネートアリス (ワイプロニル・プロナブル)	2	50g/箱	〇〇.5.1
作型名	除草剤散布	〇〇.5.15				イッテックアブル (イマリスR/コン・リアエストロール・ ベンゾビシクロ)	3	500ml/10a	〇〇.5.15
	糞肥散布	〇〇.7.15			0.6				〇〇.7.15
栽培面積 a	出穂期防除	〇〇.8.下				アミスターボソンSE (エトフェンプロックス・アジキストロビン)	2	300倍、250/10a	〇〇.8下
	収穫	〇〇.9中							
合計 (のべ使用回数)	計画				1.8				9
	実績				1.8				7
	最終見込				1.8				9
地域慣行レベル					6.6				21

収穫状況確認日は収穫期間中とし、遅くとも収穫最終日とする

実績報告書及び栽培管理記録書の内容を確認し、日付を記入、記名する。(実績報告書提出日と同日かそれ以前)

栽培管理記録書の提出日以降、実施した作業・使用の時期を記載する

実績は確認責任者の受領確認日までに使用した回数の合計を記載する

出荷記録書（様式第5号）

栽培管理記録書に記載した収穫期間を記入する

出荷記録書（令和〇〇年9月12日～令和〇〇年9月20日収穫分）

品目	いね	ほ場番号	〇〇市〇〇〇〇
品種名	コシヒカリ	面積	100.20 a
作型等	—	収穫量	5,000 kg

受領確認欄	令和〇〇年10月10日 確認責任者氏名 ■■■■ ←
-------	-------------------------------

出荷記録書の内容を確認責任者に確認し、日付を記入、記名する

出荷年月日	出荷先 ※1	規格等 (A) ※2	数量 (B)	出荷量計 (C) = (A) × (B)
R〇〇. 9. 20	とう精施設		1,750	1,750
R〇〇. 9. 30	とう精施設		1,000	1,000
R〇〇. 10. 10	とう精施設		750	750
R〇〇. 9. 25	個別出荷	30kg 袋	30	900
	自家消費		600	
合計				4,400